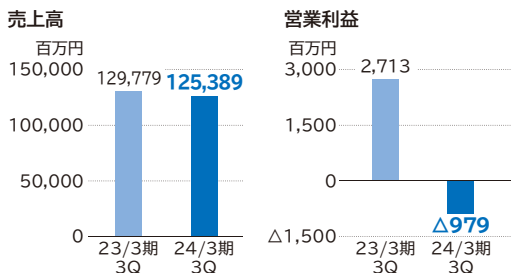


## 印刷材・産業工材関連 (前年同期比)

売上高 **1,253億89**百万円 (3.4%減)

営業利益 **△9億79**百万円 (-)



## 印刷・情報材事業部門 (前年同期比)

売上高 **989億08**百万円 (6.0%減)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



## 産業工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **264億81**百万円 (7.6%増)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

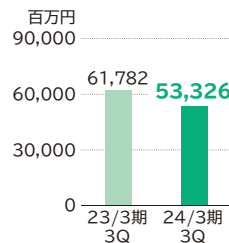
- 印刷・情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では物流・通販向けが堅調だったことに加え、食品関連が回復基調で推移したものの、アイキャッチラベルや飲料キャンペーン用などの需要が減少したことなどにより、販売数量が減少しました。海外では米国、中国において販売数量が大幅に減少しました。
- 産業工材事業部門は国内では自動車用粘着製品が堅調に推移しました。海外では米国やインド、アセアン地域で建物・自動車用ウィンドーフィルムや自動車用粘着製品が堅調に推移しました。
- セグメント営業利益は国内における主原材料価格の高止まりや物流コストの上昇に加え、米国での販売数量減少の影響などもあり、営業損失となりました。

## 電子・光学関連 (前年同期比)

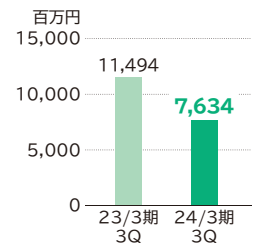
売上高 **533億26**百万円 (13.7%減)

営業利益 **76億34**百万円 (33.6%減)

売上高



営業利益

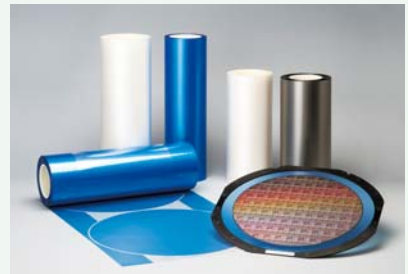


## アドバンスマテリアルズ事業部門 (前年同期比)

売上高 **425億87**百万円 (11.1%減)

### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



## オプティカル材事業部門 (前年同期比)

売上高 **107億38**百万円 (22.7%減)

### 主要製品

- 偏光フィルム／粘着加工
- タッチパネル関連製品



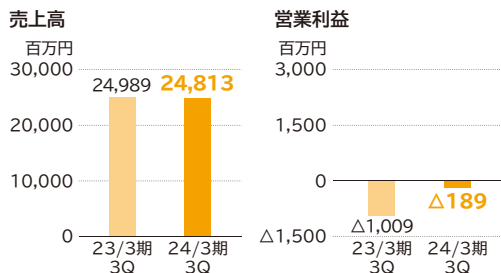
## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンスマテリアルズ事業部門は半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープが、第3四半期以降、受注が回復しましたが、上期の不振をカバーするまでには至りませんでした。
- オプティカル材事業部門は光学ディスプレイ関連粘着製品が大型テレビ用やスマートフォン用などの需要減少に加え、競争が激化したこともあり、引き続き低調に推移しました。
- セグメント営業利益は受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失もあり、前年同期に比べ減少しました。

## 洋紙・加工材関連 (前年同期比)

売上高 **248億13**百万円 (0.7%減)

営業利益 **△1億89**百万円 (－)



### 洋紙事業部門 (前年同期比)

売上高 **115億59**百万円 (3.4%減)

#### 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



### 加工材事業部門 (前年同期比)

売上高 **132億53**百万円 (1.7%増)

#### 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



## 事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は耐油耐水紙が堅調だったものの、主力のカラー封筒用紙や工業用特殊紙が低調に推移しました。
- 加工材事業部門は電子材料用剥離紙が堅調に推移したものの、一般粘着製品用剥離紙や光学関連製品用剥離フィルムが需要減少の影響を受けて低調に推移しました。
- セグメント営業利益はパルプを中心とした原燃料価格や物流費の上昇などの影響を受け、営業損失となりました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

# 株式情報 (2023年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	68,403,769株
単元株式数	100株
株主数	8,013人

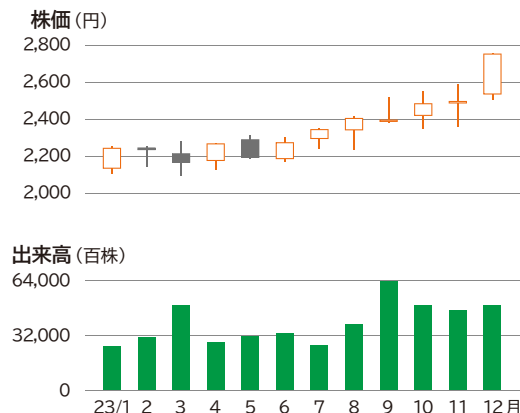
## 大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,293	31.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,301	10.67
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	5,966	8.72
全国共済農業協同組合連合会	1,831	2.67
庄司 たみ江	1,796	2.62
リンテック従業員持株会	1,258	1.83
塩飽 恵以子	1,043	1.52
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	946	1.38
塩飽 一誉子	803	1.17
庄司 早木子	797	1.16
庄司 光江	797	1.16

注1. 当社は自己株式8,284,971株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2023年1月~12月)



## IRメール配信サービスのお知らせ

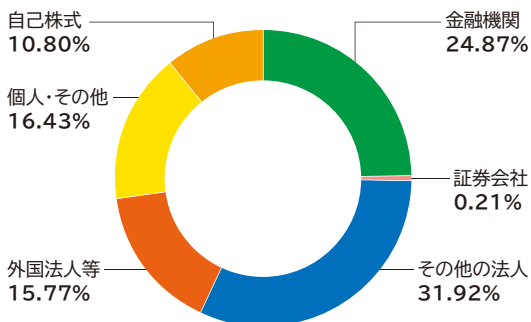
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

[www.lintec.co.jp/ir/ir\\_mail](http://www.lintec.co.jp/ir/ir_mail)

## 所有者別分布比率



## 会社概要 (2023年12月31日現在)

社名	リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)
本社設立	東京都板橋区本町23-23 1934年10月15日
資本金	233億5,598万1,761円
上場	東京証券取引所プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	連結: 5,418人 単体: 2,620人 (2023年3月31日現在)
事業所	営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所 生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、 龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居(愛媛県) 研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県) 海外事務所: ハノイ(ベトナム)
連結子会社	国内: 3社 海外: 38社

## 株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末: 3月31日 中間: 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	<a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou">www.tr.mufg.jp/daikou</a>
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の電子提供制度開始に伴う書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	<a href="http://www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html">www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html</a>



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL [www.lintec.co.jp](http://www.lintec.co.jp)

発行 広報・IR室 2024年3月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。